

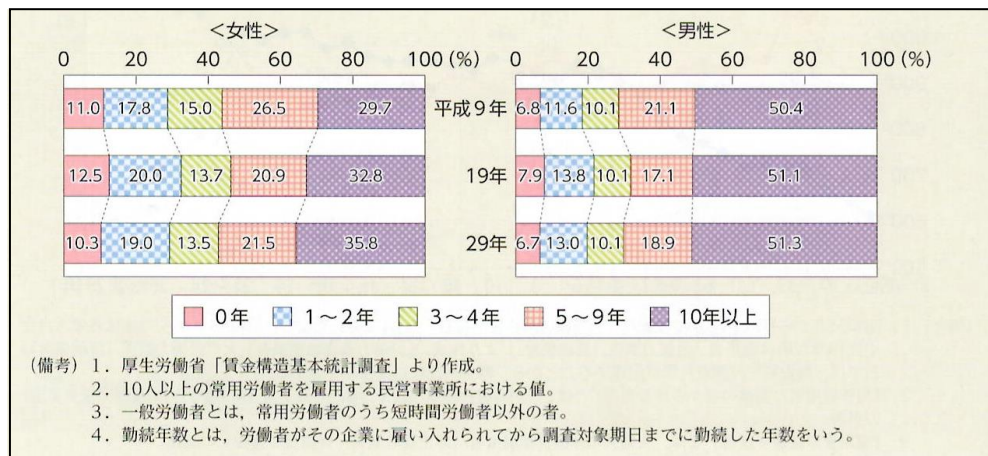
男女共同参画社会をつくる ～男女共同参画に関するQ&A～

Q43 仕事と子育て・介護の両立の最近の状況は、どのようでしょうか。

A43 女性の就業継続について

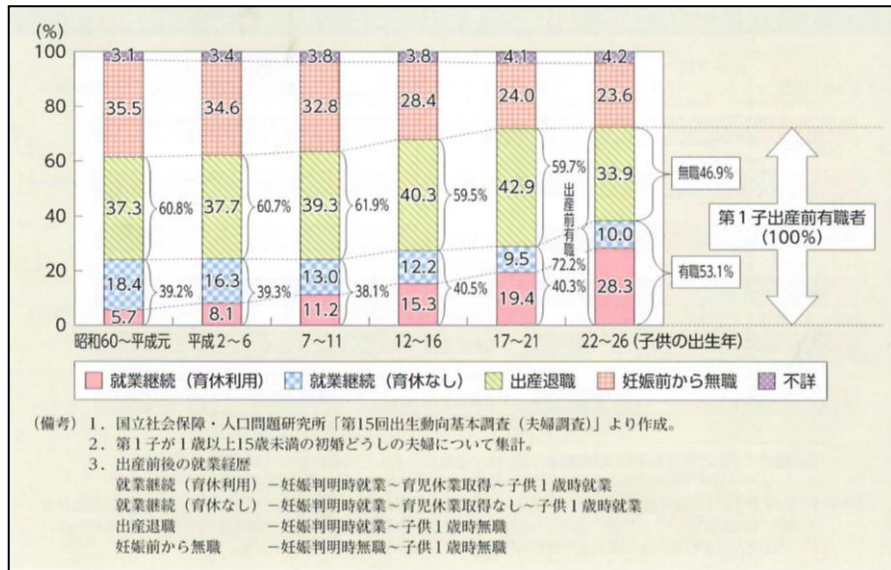
- 1 一般労働者の勤続年数の推移を男女別に見ると、10年以上勤続している者の割合は、男性が5割程度で推移しているのに対して、女性は平成9年は29.7%であったが、29年は35.8%まで増加している。(A図)

(A図) 勤続年数階級別一般労働者の構成割合の推移



- 2 第1子出産前後に女性が就業を継続する割合も上昇している。これまでは、4割前後で推移してきたが、最新の調査では約5割へと上昇した。特に、育児休業を取得して就業継続した女性の割合は、昭和60～平成元年の5.7%（第1子出産前有職者に占める割合は9.2%）から28.3%（同39.2%）へと大きく上昇した。(B図)

(B図) 子供の出生年別第1子出産前後の妻の就業経歴



介護・看護離職の状況について

3 介護・看護を理由として過去1年以内に離職した者の状況を、総務省「労働力調査(詳細集計)」により見ると、平成29年には10万人となっており、その内訳は、女性7万人、男性3万人であり、女性が7割を占める。

(C図) 介護をしながら働き続けられるよう、政府は、介護の受け皿拡大や、介護人材の確保・育成を進めている。

(C図) 介護・看護を理由とした離職者数の推移(男女別)

